

保呂羽山少年自然の家 体験活動プログラム

プログラム名	化石掘り
ねらい	大地の下がどのようなになっているのか予想し、大地のつくりについて問題を見いだしたり、化石を採取したりすることを通して、昔のその場所の様子を考えることができる。
内容	ハンマーとタガネを使って実際に化石を採取したり、地層に含まれている構成物を採取したりします。（化石掘りは出前での実施も可能です。）

◆ 関連付けて取り組みやすい各教科等の内容

<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校 理科 第6学年 B生命・地球 (4)土地のつくりと変化 ・ 中学校 理科 第1学年 第2分野 (2)大地の成り立ちと変化 	など
---	----

※学校の実態に応じて、総合的な学習の時間と関連付けて実施することも可能です。

◆ 活動の様子



【用具を使って化石を採取している様子】



【化石について先生と考察を深める子ども】

◆ 活動を通して育成が期待される主な資質・能力

学習指導要領に示されている資質・能力	
実際の社会や生活で生きて働く 知識及び技能の習得	
未知の状況にも対応できる 思考力・判断力・表現力等の育成	○
学んだことを人生や社会に生かそうとする 学びに向かう力、人間性等の涵養	

“「問い」を発する子ども”の具体的な姿	
問題を発見する姿 「それは、どういうことか？」	○
解決に向けて他者と関わろうとする姿 「こうするとよいのではないか？」	
主体的に問題解決を図ろうとする姿 「こう考えるがどうか？」	

◆ プログラムの展開例 「化石掘り」

学校等での 事前学習 ※必要に応じて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6年生理科の土地のつくりと変化の授業を進め、地層について調べる。 ・ 体験を今後の学習に生かすために、ワークシート等に化石掘りのめあてや調べたいことを記入する。
--------------------------	---

	児童生徒の活動内容	指導者側の留意点
保呂羽山 少年自然の家 での 学習 【90分】	1. 活動のめあて等を確認する。【10分】 化石を見つけて大地のひみつを探ろう。 <ul style="list-style-type: none"> ・ めあて、活動の流れを確認する。 ・ 安全に関する注意点を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校での事前学習を想起させ、めあてや活動のポイントを確認する。 ・ ハンマーとたがね、防護めがねの使い方を指導する。
	2. 場所を移動し、化石に関する話を聞いたり、化石掘りをしたりする。【70分】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動に往復20分の徒歩移動が含まれることを考慮しておく。 ・ どのような岩に化石があり、その化石からここは昔どのような場所だったのかなど、考えながら活動するよう助言する。【学校職員】
	☆次のような「“問い”を発見し、解決に向かって試行錯誤する場面」を支援します☆	
3. 活動のまとめをする。【5分】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 化石をなかなか見付けられない児童生徒に適宜支援をする。【学校職員】 	
4. 活動を振り返る。【5分】	<ul style="list-style-type: none"> ・ どのような場所で、どのように化石ができるのかを考えさせる。 ・ 気付いたことを発表させる。 	

学校等での 事後学習 ※必要に応じて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 採取した化石を保護するためにコーティングを行う。 ・ 採取した化石を教材として、理科の授業を展開する。
--------------------------	--

プログラム名	自然素材工作
ねらい	どんぐりや松ぼっくりなどの数多くの自然素材の感触を確かめたり、自分で拾い集めた自然物を含めた素材を自由に組み合わせて工作したりする活動を通して、想像力や直感力を発揮した独創的な作品づくりをすることができる。
内容	素材を手にした感触を楽しみながら、土台となるアケビのつるのリースや丸い板に、グルーガンを使って様々な自然物を接着して作品を仕上げます。

◆ 関連付けて取り組みやすい各教科等の内容

<ul style="list-style-type: none"> 小学校 生活 身近な人々、社会及び自然と関わる活動 (5) 季節の変化と生活 (6) 自然や物を使った遊び 小学校 図画工作 A表現 	など
---	----

※学校の実態に応じて、特別活動と関連付けて実施することも可能です。

◆ 活動の様子



【みんなで自然物を集めている様子】



【作品を見せ合いイメージを膨らませる子どもたち】

◆ 活動を通して育成が期待される主な資質・能力

学習指導要領に示されている資質・能力	
実際の社会や生活で生きて働く 知識及び技能の習得	
未知の状況にも対応できる 思考力・判断力・表現力等の育成	○
学んだことを人生や社会に生かそうとする 学びに向かう力、人間性等の涵養	

“「問い」を発する子ども”の具体的な姿	
問題を発見する姿 「それは、どういうことか？」	
解決に向けて他者と関わろうとする姿 「こうするとよいのではないか？」	
主体的に問題解決を図ろうとする姿 「こう考えるがどうか？」	○

◆ プログラムの展開例 「自然素材工作」

学校等での 事前学習 ※必要に応じて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な素材を自由に組み合わせて、自分なりの作品を作る機会を設ける。 ・ 学校や家庭で、身の回りにある秋の自然物を集める。
--------------------------	---

	児童生徒の活動内容	指導者側の留意点
	1. 活動のめあてを確認する。【3分】 秋のそざいでへやかざりを作ろう	<ul style="list-style-type: none"> ・ いろいろな素材に触れさせ、工作へのイメージを膨らませる。
	2. 作り方の説明をする。【5分】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の留意点を伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 制作の手順や気をつけること(特にやけどへの注意喚起)と時間の目安を設定し、ゴールの見通しをもたせる。
	3. 自然物を組み合わせて工作活動をする。【62分】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分で集めた素材を工夫して使うことを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然物がどのような場所で拾えるか、その特徴は何かなど、素材に関する質問に答えられるよう事前に関係者間で情報を共有する。 ・ 素材の組み合わせやその接着について適宜支援をする。【学校職員】
保呂羽山 少年自然の家 での 学習 【80分】	☆次のような「問い」を発見し、解決に向かって試行錯誤する場面」を支援します☆	
	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> “問い”の例 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> ◎昆虫を作るにはどうすればいいかな？ ・ このエビフライみたいな材料は、どうやってできたのかな？ ◎どうして松ぼっくりはうまく立たないのかな？ </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 他の素材も見てみよう。 </div> </div>	
	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 昆虫図鑑を見てこよう。 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 松ぼっくりの下って丸くなってる！ </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 発言：児童生徒 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 支援：指導者 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 自分なりに工夫しているところを見つけてあげる。 </div> </div>	
	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 工作のヒントを示唆したり、友だちから工夫点を見つけるようアドバイスする。 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> ◎図鑑を見ると虫は体が3つになっているから3個組み合わせてみよう。 ・ 「森のエビフライ図鑑」にリスが載っている。リスの食事の食べ残しなんだ！ ◎土台に筒みたいのを敷いてみよう。 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> ◎◎君のやり方工夫してすごい！ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 解決の姿 </div> </div>	
	4. 活動のまとめをする。【5分】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 道具、素材の後片付けをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然物の特徴を生かした作品づくりをしている児童を褒める。【学校職員】
	5. 活動を振り返る。【5分】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分が作品を作るにあたり、工夫したことをまとめる。 ・ 振り返りのポイントを示す。

学校等での 事後学習 ※必要に応じて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 友達の作品を鑑賞して互いの工夫したところや気に入ったところを話したり、季節の変化を自分の生活の中に取り入れて楽しむ計画を立てたりする。 ・ 自然物を使った遊び道具を作り、保育園等に出向いて遊ぶ活動に発展させる。
--------------------------	--

保呂羽山少年自然の家 体験活動プログラム

プログラム名	火起こし
ねらい	火起こしの体験を通して、狩猟・採集や農耕の生活及び当時の人々のものの見方や考え方に興味をもつことができる。
内容	まいぎり式の火起こし器を使い、火起こし、着火、ろうそくや提灯での火の保存までの体験を協力しておこないます。（出前での実施も可能です。また、この火を使って野外炊飯につなげることもできます。）

◆ 関連付けて取り組みやすい各教科等の内容

<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校 社会科 第6学年 内容(2)日本の歴史 ・ 小学校 理科 第6学年A(1)年少の仕組みア(ア) ・ 中学校 社会科 歴史的分野 内容(1)古代までの日本 など

※学校の実態に応じて、総合的な学習の時間と関連付けて実施することも可能です。

◆ 活動の様子



【火起こし体験の様子】



【火の保存に成功してよろこぶ子ども】

◆ 活動を通して育成が期待される資質・能力

学習指導要領に示されている資質・能力	
実際の社会や生活で生きて働く 知識及び技能の習得	
未知の状況にも対応できる 思考力・判断力・表現力等の育成	○
学んだことを人生や社会に生かそうとする 学びに向かう力、人間性等の涵養	

“「問い」を発する子ども”の具体的な姿	
問題を発見する姿 「それは、どういうことか？」	
解決に向けて他者と関わろうとする姿 「こうするとよいのではないか？」	○
主体的に問題解決を図ろうとする姿 「こう考えるがどうか？」	

◆ プログラムの展開例 「火起こし」												
学校等での 事前学習 ※必要に応じて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6年社会科の歴史と生活の変化の授業を進め、火が使われるようになった頃の様子について調べる。 ・ 体験を今後の学習に生かすために、めあてや調べたいことを記入する。 											
保呂羽山 少年自然の家 での学習 【90分】	<table border="1"> <thead> <tr> <th>児童生徒の活動内容</th> <th>指導者側の留意点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 1. 活動のめあて等を確認する。【10分】 縄文人になって、生活に大切な火を起こそう。 <ul style="list-style-type: none"> ・ めあて、活動の流れを確認する。 ・ 安全に関する注意点を確認する。 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校での事前学習を想起させ、めあてや活動のポイントを確認する。 ・ まいぎり式火起こし器の使い方を指導する。 </td> </tr> <tr> <td> 2. グループに分かれ、「火起こしを回す」「板を押さえる」「火種を吹く」などの役割を決め、協力して体験する。 【70分】 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2~4名程度のグループを予め決めておく。【学校職員】 </td> </tr> <tr> <td colspan="2"> ☆次のような「“問い”を発見し、解決に向かって試行錯誤する場面」を支援します☆ </td> </tr> </tbody> </table>	児童生徒の活動内容	指導者側の留意点	1. 活動のめあて等を確認する。【10分】 縄文人になって、生活に大切な火を起こそう。 <ul style="list-style-type: none"> ・ めあて、活動の流れを確認する。 ・ 安全に関する注意点を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校での事前学習を想起させ、めあてや活動のポイントを確認する。 ・ まいぎり式火起こし器の使い方を指導する。 	2. グループに分かれ、「火起こしを回す」「板を押さえる」「火種を吹く」などの役割を決め、協力して体験する。 【70分】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2~4名程度のグループを予め決めておく。【学校職員】 	☆次のような「“問い”を発見し、解決に向かって試行錯誤する場面」を支援します☆				
	児童生徒の活動内容	指導者側の留意点										
	1. 活動のめあて等を確認する。【10分】 縄文人になって、生活に大切な火を起こそう。 <ul style="list-style-type: none"> ・ めあて、活動の流れを確認する。 ・ 安全に関する注意点を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校での事前学習を想起させ、めあてや活動のポイントを確認する。 ・ まいぎり式火起こし器の使い方を指導する。 										
	2. グループに分かれ、「火起こしを回す」「板を押さえる」「火種を吹く」などの役割を決め、協力して体験する。 【70分】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2~4名程度のグループを予め決めておく。【学校職員】 										
☆次のような「“問い”を発見し、解決に向かって試行錯誤する場面」を支援します☆												
<table border="1"> <tr> <td> “問い”の例 リズムよく回したら煙が出てきたよ。 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ どうやれば上手く回せるのかな？ ・ どうやれば火種から着火できるのかな？ ◎火を起こせるようになってどんな風に生活が変わったのかな？ </td> <td> 火種が消えてしまうよ、むずかしいね。 </td> </tr> <tr> <td> スムーズに回すのはむずかしいね。 </td> <td> 発言：児童生徒 </td> <td> 支援：指導者 </td> </tr> <tr> <td> 煙が濃くなり、火種ができるまで根気強く回すようアドバイスする。 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 力を入れる強さとタイミングが大事だね。 ・ 板をしっかりと押さえると回しやすいよ。 ・ 火種が消えないように細く長く息を吹こう。 ◎食事や夜の活動など生活スタイルに変化があったんじゃないかな。 </td> <td> リズムよく回す方法が分かってきたよ。 </td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td> 解決の姿 </td> </tr> </table>	“問い”の例 リズムよく回したら煙が出てきたよ。	<ul style="list-style-type: none"> ・ どうやれば上手く回せるのかな？ ・ どうやれば火種から着火できるのかな？ ◎火を起こせるようになってどんな風に生活が変わったのかな？ 	火種が消えてしまうよ、むずかしいね。	スムーズに回すのはむずかしいね。	発言：児童生徒	支援：指導者	煙が濃くなり、火種ができるまで根気強く回すようアドバイスする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 力を入れる強さとタイミングが大事だね。 ・ 板をしっかりと押さえると回しやすいよ。 ・ 火種が消えないように細く長く息を吹こう。 ◎食事や夜の活動など生活スタイルに変化があったんじゃないかな。 	リズムよく回す方法が分かってきたよ。			解決の姿
“問い”の例 リズムよく回したら煙が出てきたよ。	<ul style="list-style-type: none"> ・ どうやれば上手く回せるのかな？ ・ どうやれば火種から着火できるのかな？ ◎火を起こせるようになってどんな風に生活が変わったのかな？ 	火種が消えてしまうよ、むずかしいね。										
スムーズに回すのはむずかしいね。	発言：児童生徒	支援：指導者										
煙が濃くなり、火種ができるまで根気強く回すようアドバイスする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 力を入れる強さとタイミングが大事だね。 ・ 板をしっかりと押さえると回しやすいよ。 ・ 火種が消えないように細く長く息を吹こう。 ◎食事や夜の活動など生活スタイルに変化があったんじゃないかな。 	リズムよく回す方法が分かってきたよ。										
		解決の姿										
3. 活動のまとめをする。【5分】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童生徒の実態に応じて、適宜支援を行う。【学校職員】 											
4. 活動を振り返る。【5分】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 火起こしの大変さを通して、火の大切さや生活とのかかわりについても考えさせる。 ・ 気付いたことを発表させる。 											
学校等での 事後学習 ※必要に応じて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 火が使われるようになったことによる生活の進歩について調べたり、まとめたりして授業を展開する。 											

保呂羽山少年自然の家 体験活動プログラム

プログラム名	陶芸
ねらい	自分の作りたいものに適した作り方(手びねり、ひもづくり、板づくり等)を考え、イメージを膨らませながら、皿や湯飲みなどの陶芸作品を作ることができる。
内容	陶芸用粘土で、自分のイメージを生かして皿や湯飲みなどの作品を作る活動です。(『素焼きまで』、『釉薬をつけての本焼きまで』のどちらでも可能。出前対応もできます。)

◆ 関連付けて取り組みやすい各教科等の内容

<ul style="list-style-type: none"> ・ 図画工作 第5学年及び第6学年 A表現(1)イ、A表現(2)イ、[共通事項]ア、イ <p style="text-align: right;">など</p>
--

※学校の実態に応じて、総合的な学習の時間及び特別活動として実施することも可能です。

◆ 活動の様子



【陶芸制作の様子】



【互いの作品を見せ合う子ども】

◆ 活動を通して育成する主な資質・能力

学習指導要領に示されている資質・能力	
実際の社会や生活で生きて働く 知識及び技能の習得	
未知の状況にも対応できる 思考力・判断力・表現力等の育成	○
学んだことを人生や社会に生かそうとする 学びに向かう力、人間性等の涵養	

“「問い」を発する子ども”の具体的な姿	
問題を発見する姿 「それは、どういうことか？」	
解決に向けて他者と関わろうとする姿 「こうするとよいのではないか？」	○
主体的に問題解決を図ろうとする姿 「こう考えるがどうか？」	

◆ プログラムの展開例 「陶芸」

学校等での 事前学習 ※必要に応じて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「陶芸」に関するイメージを話し合う。 ・ 自分の作りたいもの(皿または湯飲み)を決めて、イメージ図を作成する。 ・ 活動に必要なもの(汚れてもよい服装、ふきんなど)を確認する。
--------------------------	--

	児童生徒の活動内容	指導者側の留意点
保呂羽山 少年自然の家 での 学習 【90分】	1. 活動のめあて等を確認する。【10分】 作り方を工夫しながら、作品を作ろう！ <ul style="list-style-type: none"> ・ めあて、活動の流れを確認する。 ・ 安全に関する留意点を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道具の使い方、作業工程などについて説明する。 ・ 手びねり、ひもづくり、板づくりのやり方や特徴について実演する。
	2. 自分が作りたいものに適した作り方を探りながら、イメージを膨らませて作品を作成する。【70分】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 後片付けの時間を考慮し、活動の進捗状況を確認していく。【学校職員】 ・ 皿を作るのに適した作り方、湯飲みを作るのに適した作り方はどれなのか等について問いかける。
	☆次のような「問い」を発見し、解決に向かって試行錯誤する場面」を支援します☆	
	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>“問い”の例</p> <p>◎皿を手びねりで作ってみようかな？</p> <p>◎湯飲みは、ひもづくりがいいかな？</p> <p>・ 模様をつけるにはどうしたらいい？</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>手びねりだと厚さが一定にならないな。</p> <p>ひもづくりだとすきまを埋めるのが大変だ。</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>発言：児童生徒</p> <p>支援：指導者</p> <p>余った粘土で、かざりをつけてみよう。</p> <p>作品の仕上げ方についてアドバイスする。</p> <p>表面をきれいに仕上げる方法を考えよう。</p> <p>解決の姿</p> </div> </div>	
	3. 活動を振り返る。【5分】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童生徒の実態に応じて、適宜支援を行う。【学校職員】
	4. 後片付けをする。【5分】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 工夫した点、難儀したところなどについて、発表し合う。

学校等での 事後学習 ※必要に応じて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 互いの作品の良さを認め合うために、作品を鑑賞し合う場を設ける。 ・ 釉薬をつけて本焼きをする場合は、作品のイメージに合う釉薬の色を予め決めておくようにする。
--------------------------	---

プログラム名	セミの抜け殻の観察
ねらい	身近な生物についての観察、実験などを通して、いろいろな生物の共通点や相違点を見いだすとともに、生物を分類するための観点や基準を見いだして表現することができきる。
内容	保呂羽山付近に生息するセミの抜け殻を採取、観察し、からだのつくりや特徴について意見を交換する。

◆ 関連付けて取り組みやすい各教科等の内容

<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校 理科 第1学年 2(1)いろいろな生物とその共通点

◆ 活動の様子



【 分類されたセミの抜け殻 】



【 分類体験の様子 】

◆ 活動を通して育成する主な資質・能力

学習指導要領に示されている資質・能力	
実際の社会や生活で生きて働く 知識及び技能の習得	○
未知の状況にも対応できる 思考力・判断力・表現力等の育成	
学んだことを人生や社会に生かそうとする 学びに向かう力、人間性等の涵養	

“「問い」を発する子ども”の具体的な姿	
問題を発見する姿 「それは、どういうことか？」	○
解決に向けて他者と関わろうとする姿 「こうするとよいのではないか？」	
主体的に問題解決を図ろうとする姿 「こう考えるがどうか？」	

◆ プログラムの展開例 「セミの抜け殻の観察」

学校等での 事前学習 ※必要に応じて	<ul style="list-style-type: none"> セキツイ動物などの他の生物のからだの特徴を確認する。
--------------------------	--

	児童生徒の活動内容	指導者側の留意点
保呂羽山 少年自然の家 での学習 【50分】	1. 活動の課題を確認する。【3分】 昆虫のからだのつくりは、セキツイ動物とどんな違いがあるのか？	<ul style="list-style-type: none"> 昆虫の苦手な生徒のために、作業を隣で見るのも、仲間の発表を聞くことも学びであることを伝える。
	2. 活動の留意点を確認する。 ・ 役割分担など効率の良い方法を考える。	
	3. セミの抜け殻の特徴から、セキツイ動物との違いを見付ける。	<ul style="list-style-type: none"> 視点を明確にするために、他の生物と比較して考えさせる。
	4. 無セキツイ動物のからだのつくりや特徴について意見を交換する。	
	☆次のような「問い」を発見し、解決に向かって試行錯誤する場面」を支援します☆	
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 20%;"> “問い”の例 ◎セミの抜け殻は、どうなっているのだろうか？ ◎無セキツイ動物ってどんなからだなんだろう。 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 20%;"> 腹部に気門があるね。 </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 20%;"> 堅そうだけど壊れやすいな。 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 20%;"> 大きさや色で分けることはできないか </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 20%;"> 発言：児童生徒 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 20%;"> からだの表面の様子に着目させる。 </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> 支援：指導者 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> 他にも違いはあるのかな。 </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> 分り易い特徴から分類するように促す。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> ・足の数が違うね。 ・体の外側が硬いよ。 ◎セキツイ動物と比較するとまとめやすいよ。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> 解決の姿 </div> </div>		
4. 活動のまとめをする。【5分】 5. 活動を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の実態に応じて、適宜支援を行う。【学校職員】 まとめのポイントを示す。 	

学校等での 事後学習 ※必要に応じて	<ul style="list-style-type: none"> 他の生物のからだについて学び、生物のからだのつくりの学習に生かす。
--------------------------	---